

NEC Express5800シリーズ Express5800/A1040, A1160

3

ソフトウェア編

Express5800/A1040、A1160用に用意されているソフトウェアについて説明します。

「サーバ管理ソフトウェアについて」(170ページ)

本装置のサーバ管理ソフトウェアについて説明します。

「添付のユーティリティ CDについて」(172ページ)

本体に添付の「ユーティリティ CD」CD-ROMに収められているソフトウェアについて紹介します。

「Windows Server 2003のセットアップ」(174ページ)

Windows Server 2003やシステムセットアップについて説明します。

「Windows Server 2008のセットアップ」(175ページ)

Windows Server 2008やシステムセットアップについて説明します。

「その他OSのセットアップについて」(176ページ)

上記以外のOSやシステムセットアップについて説明します。

「本装置用バンドルソフトウェア」(177ページ)

本装置にインストールするバンドルソフトウェアについて説明します。

「管理PC用バンドルソフトウェア」(183ページ)

本体を監視・管理するための管理PCにインストールするバンドルソフトウェアについて説明します。

サーバ管理ソフトウェアについて

本サーバは、標準でシステム監視チップを搭載しており、サーバに内蔵されている以下の各種リソースを監視します。これらのハードウェア機能とシステム管理用ソフトウェア「ESMPRO/ServerManager」、「ESMPRO/ServerAgent」が連携し、サーバの稼動状況などを監視するとともに万一の障害発生時にはただちに管理者へ通報します。

ESMPRO/ServerAgentをインストールした場合、データビューアの項目ごとの機能可否は下記の表のとおりです。

機能名	可否	機能概要
ハードウェア	○	ハードウェアの物理的な情報を表示する機能です。
メモリバンク	○	メモリの物理的な情報を表示する機能です。
装置情報	○	装置固有の情報を表示する機能です。
CPU	○	CPU の物理的な情報を表示する機能です。
システム	○	CPU の論理情報参照や負荷率の監視をする機能です。 メモリの論理情報参照や状態監視をする機能です。
I/O デバイス	○	I/O デバイス (フロッピーディスクドライブ、シリアルポート、パラレルポート、キーボード、マウス、ビデオ) の情報参照をする機能です。
システム環境	△	温度、ファン、電圧、電源、ドアなどを監視する機能です。
温度	○	筐体内部の温度を監視する機能です。
ファン	○	ファンを監視する機能です。
電圧	○	筐体内部の電圧を監視する機能です。
電源	○	電源ユニットを監視する機能です。
筐体カバー	×	Chassis Intrusion (筐体のカバー / ドアの開閉) を監視する機能です。
ソフトウェア	○	サービス、ドライバ、OS の情報を参照する機能です。
ネットワーク	○	ネットワーク (LAN) に関する情報参照やパケット監視をする機能です。
BIOS	○	BIOS の情報を参照する機能です。
ローカルポーリング	○	ESMPRO/ServerAgent が取得する任意の MIB 項目の値を監視する機能です。
ストレージ	○	ストレージ機器の構成情報を参照する機能です。
ファイルシステム	○	ファイルシステム構成の参照や空き容量を監視をする機能です。
ディスクアレイ	○	ディスクアレイコントローラを監視する機能です。 ※ Linux 版は障害通報機能のみのサポートです。
その他	○	ウォッチドッグタイマによる OS ストール監視をする機能です。 ※ Windows 版のみサポートの機能です。
	○	OS STOP エラー発生後の通報処理を行う機能です。

○: サポート △: 一部サポート ×: 未サポート

また、Out-of-band管理機能(EXPRESSSCOPE® Engine SPのリモート制御ツール)を使用することにより、リモートからEXPRESSSCOPE® Engine SP経由で電源制御等を実施することができます。

Windows版との機能差分について

Linux版ESMPRO/ServerAgentでは、Windows版ESMPRO/ServerAgentとは異なり、ディスクアレイ監視機能は、障害通報機能のみサポートです。データビューアでのディスクアレイ情報の表示はできません。

別途、ディスクアレイコントローラのRAIDシステム監視ユーティリティをご使用ください。Linux版ではウォッチドッグタイマによるOS ストール監視機能は未サポートです。

ネットワーク管理

ESMPRO/ServerManager、ServerAgentを利用して、サーバの送受信パケットを監視できます。(回線の障害や高負荷など)また、別売のWebSAM/Netvisorを利用することにより、ネットワーク全体の管理を行うことができます。

VMware版ESMPRO/ServerAgentについて

VMware版ESMPRO/ServerAgentは本ユーティリティ CDには含まれておりません。

別途、ESMPRO/ServerAgent for VMware Infrastructure 3 (UL1032-002) をご購入ください。

ESMPRO/ServerManagerのデータビューアの表示について

- 本サーバは、システム環境センサ（温度、ファン、電圧）の監視(通報)をサポートしていますが、データビューアへの現在値（温度、ファン、電圧値）の表示をサポートしていません。
- 本サーバは、冗長電源をサポートしていますが、冗長電源が未サポートと表示されます。

添付のユーティリティ CDについて

添付の「ユーティリティ CD」には、本装置を容易にセットアップするための各種バンドルソフトウェア、ユーティリティ、オンラインドキュメント、ドライバが収録されています。

「ユーティリティ CD」のメニューからは、各種バンドルソフトウェア、ユーティリティのインストールや、オンラインドキュメントの参照を行うことができます。

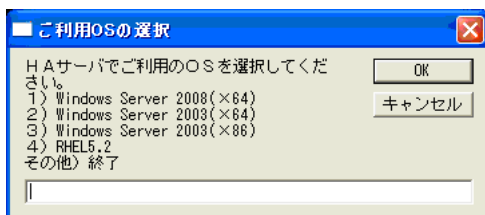
本装置の設定が完了した後も、OSの再インストールなどで使用する機会があります。紛失しないように大切に保存しておいてください。

起動について

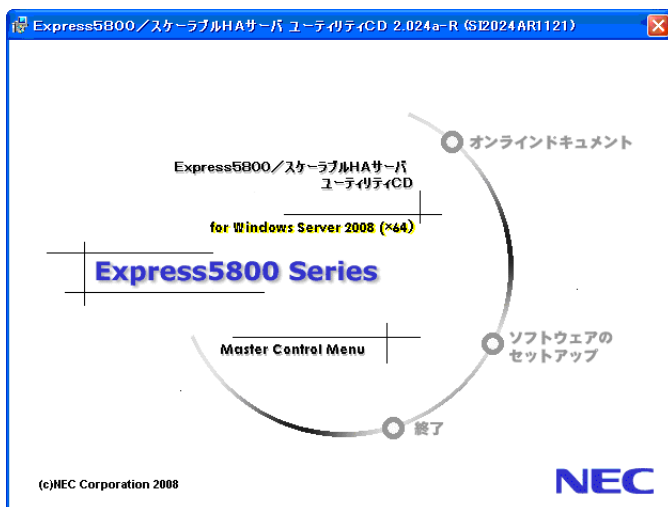
WindowsXP,VistaまたはWindowsServer2003が動作しているコンピュータ上で「ユーティリティ CD」をドライブにセットしますと、Autorun機能が働いて自動的に「ご利用OSの選択」メニューが表示されます。

CDの自動再生機能を無効に設定されている場合は、ユーティリティCDに収録された¥mc.vbsを実行していただくと「ご利用OSの選択」メニューが表示されます。

メニューの表示に従って本サーバ上で利用するOSを選択していただくとマスターコントロールメニューが起動します。



OS選択を行うと、マスタコントロールメニューが表示されます。



「マスターコントロールメニュー」の操作は、ウィンドウに表示されているそれぞれの項目をクリックしてください。各項目については、以下の通りです。

- オンラインドキュメント

ユーザズガイドや各種バンドルソフトウェアのオンラインドキュメントを参照することができます。

- ソフトウェアのセットアップ

各種バンドルソフトウェアのインストールを行います。

本項目をクリックすると、「Software Setup Menu」が表示されます。

インストールを行うバンドルソフトウェアの項目をクリックすると、それぞれのインストーラが起動されます。各種バンドルソフトウェアのインストール方法については、オンラインドキュメントを参照してください。

- 終了

「マスターコントロールメニュー」を終了します。



CD-ROMをドライブから取り出す前にマスターコントロールメニューおよびメニューから起動されたオンラインドキュメント、各種ツールは終了させておいてください。



ドキュメントのみ参照する場合は、ユーティリティ CDの以下のディレクトリのHTMLファイルを開いてください。(上段：Linux表記、下段：Windows表記)

```
Windows2003x86
  MC3_86/HTML/JP/INDEX.HTM
  ¥ MC3_86¥HTML¥JP¥INDEX.HTM
Windows2003x64
  MC3_64/HTML/JP/INDEX.HTM
  ¥ MC3_64¥HTML¥JP¥INDEX.HTM
Windows2008
  MC8/HTML/JP/INDEX.HTM
  ¥ MC8¥HTML¥JP¥INDEX.HTM
RHEL5.2
  MCL/HTML/JP/INDEX.HTM
  ¥ MCL¥HTML¥JP¥INDEX.HTM
```

Windows Server 2003のセットアップ

ハードウェアのセットアップを完了してから、Windows Server 2003やシステムのセットアップを行います。

ハードウェアのセットアップ方法は「1 導入編」、「2 ハードウェア編」を参照してください。また、OSのインストールやブートを行う場合、各OS毎にBIOSの設定が異なります。使用するOSに合わせてBIOSの設定を行ってください。設定方法については「付録A」を参照願います。

Windows Server 2003やシステムのセットアップについては、添付の「ユーティリティCD」に格納されている、以下オンラインマニュアルを参考にしてください。

- Microsoft® Windows Server™ 2003 R2,Enterprise Edition/
Microsoft® Windows Server™ 2003 R2,Enterprise x64 Edition/
Microsoft® Windows Server™ 2003 R2,Datacenter Edition インストールサブリ
メントガイド

Windows Server 2008のセットアップ

ハードウェアのセットアップを完了してから、Windows Server 2008やシステムのセットアップを行います。

ハードウェアのセットアップ方法は「1 導入編」、「2 ハードウェア編」を参照してください。また、OSのインストールやブートを行う場合、各OS毎にBIOSの設定が異なります。使用するOSに合わせてBIOSの設定を行ってください。設定方法については「付録A」を参照願います。

Windows Server 2008やシステムのセットアップについては、添付の「ユーティリティCD」に格納されている、以下オンラインマニュアルを参考にしてください。

- Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise／
Microsoft® Windows Server® 2008 Datacenterインストレーションサプリメント
ガイド for Express5800/ A1040, A1160

その他OSのセットアップについて

ハードウェアのセットアップを完了してから、OSやシステムのセットアップを行います。ハードウェアのセットアップ方法は「1 導入編」、「2 ハードウェア編」を参照してください。また、OSのインストールやブートを行う場合、各OS毎にBIOSの設定が異なります。使用するOSに合わせてBIOSの設定を行ってください。設定方法については「付録A」を参照願います。

OSやシステムのセットアップ方法に関しては、別途提供される各OS毎のインストールガイドを参考にしてください。

本装置用バンドルソフトウェア

本装置にバンドルされているソフトウェアの紹介およびインストールの方法について簡単に説明します。詳細は添付の「ユーティリティ CD」内のオンラインドキュメントをご覧ください。

ESMPRO/ServerAgent (Windows版)

ESMPRO/ServerAgent (Windows版) は、本装置にインストールするサーバ監視用アプリケーションです。



運用上の注意事項については、添付の「ユーティリティ CD」内のオンラインドキュメント「ESMPRO/ServerAgent (Windows版) インストレーションガイド」に記載しています。ご覧ください。

インストール前の準備

ESMPRO/ServerAgentを動作させるためにはNEC固有デバイス用ドライバのインストールと、対象OSのTCP/IPとTCP/IP関連コンポーネントのSNMPの設定が必要です。

Windows Server 2003をご利用になる場合は、Microsoft® Windows Server™ 2003 R2, Enterprise Edition/Microsoft® Windows Server™ 2003 R2, Enterprise x64 Edition/Microsoft® Windows Server™ 2003 R2, Datacenter Edition インストールサプリメントガイドに従い、IPMIドライバのインストールを行ってください。

ネットワークサービスの設定

プロトコルはTCP/IPを使用してください。TCP/IPの設定についてはスタートメニューから起動する「ヘルプ」を参照してください。

SNMPサービスの設定

トラップのコミュニティ名に「public」、または任意のコミュニティ名を設定し、トラップ送信先に、ESMPRO/ServerManagerをインストールした管理PC等のIPアドレスを設定してください。

詳細については、ユーティリティ CD内のオンラインドキュメント「ESMPRO/ServerAgent (Windows版) インストレーションガイド」を参照してください。

インストール

ESMPRO/ServerAgentのインストールは添付の「ユーティリティ CD」を使用します。本装置上のOSが起動した後、Autorunで表示されるメニューから [ソフトウェアのセットアップ] - [ESMPRO] - [ESMPRO/ServerAgent] の順にクリックしてください。以降はダイアログボックス中のメッセージに従ってインストールしてください。



アドミニストレータの権限を持ったアカウントでシステムにログインしてください。

ネットワーク上のCD-ROMドライブから実行する場合は、ネットワークドライブの割り当てを行った後、そのドライブから起動してください。エクスプローラのネットワークコンピュータからは起動しないでください。



アップデートインストールについて
ESMPRO/ServerAgentがすでにインストールされている場合は、次のメッセージが表示されます。

「ESMPRO/ServerAgentが既にインストールされています。」

メッセージに従って処理してください。

インストール後の確認

ESMPRO/ServerAgentをインストールした後に次の手順で正しくインストールされていることを確認してください。

1. 本装置を再起動する。
2. イベントログを開く。
3. イベントログにESMPRO/ServerAgentの監視サービスに関するエラーが登録されていないことを確認する。

エラーが登録されている場合は、正しくインストールされていません。もう一度はじめてインストールしなおしてください。

ESMPRO/ServerAgent (Linux版)

ESMPRO/ServerAgent(Linux版)は本装置にインストールするサーバ監視用アプリケーションです。本体装置に添付されているインストールガイドを参照しESMPRO/ServerAgentをインストールしてください。

Universal RAID Utility

Universal RAID Utilityは、本装置内蔵のRAIDコントローラ(MegaRAID)を管理・監視するユーティリティです。インストールおよび操作方法、機能については、添付の「ユーティリティ CD」に収録しているUniversal RAID Utilityユーザーズガイドを参照してください。

Universal RAID Utilityのセットアッププログラムを使用した セットアップ

Universal RAID Utilityのセットアッププログラムを直接使用してセットアップできます。操作方法については、添付の「ユーティリティ CD」に収録しているUniversal RAID Utilityユーザーズガイドを参考にしてください。

エクスプレス通報サービス

エクスプレス通報サービスに登録することにより、システムに発生する障害情報（予防保守情報含む）を電子メールやモデム経由で保守センターに自動通報することができます。本サービスを使用することにより、システムの障害を事前に察知したり、障害発生時に迅速に保守を行ったりすることができます。

エクスプレス通報サービスの詳細については、以下のガイドを参照してください。

- Windows版 : 添付の「ユーティリティ CD」内のオンラインドキュメント
 「エクスプレス通報サービス インストレーションガイド」
- Linux版 : 添付の「ユーティリティ CD」内に格納している
 「エクスプレス通報サービス(Linux版) セットアップガイド」



重要

本サーバでは、ESMPRO/ServerAgent経由でのExpress通報サービスに加えて、EXPRESSSCOPE[®] Engine SP（サービスプロセッサ）からのアラートを保守センターに通報する、エクスプレス通報サービス(MG)をサポートしています。

エクスプレス通報サービス(MG)については、管理PC用バンドルソフトウェアの章を参照願います。

セットアップに関する注意事項

エクスプレス通報サービス設定ユーティリティの以下の画面では「コメント」欄にPartition名を入力してください。

ESMPRO/ServerAgent (Windows版) をご利用の場合：

エクスプレス通報サービス設定ユーティリティ

サーバ名称 (R): [xxxxxxxx]

装置コード (H): [xxxxxxxx]

製造番号 (J): [xxxxxxxx]

保証書番号 (G): [xxxxxxxx]

OS情報

OS名 (Q): [Windows Server 2003]

詳細バージョン (V): [ServicePack1]

コメント (C): [Partition#0]

説明:

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

設定ユーティリティについては、オンラインマニュアルを参照してください。



- Partition名は、EXPRESSSCOPE® モニター、またはPartitionリモートコンソールで確認可能です。
- Partition名はPartitionリモートコンソールで変更可能です。通報の発行元のPartitionが判別可能なように、同一System内に同一のPartition名は付けないでください。Partition名の変更方法は、「1. Partitionリモートコンソール」の「1.6.3 General」(142ページ)を参照してください。

ESMPRO/ServerAgent(Linux版)をご利用の場合：

「エクスプレス通報サービスの設定」画面から「サーバ情報の設定」を選択して表示される以下の画面のコメント欄にPartition名を入力してください。



サーバ情報の設定

サーバ名称: CNES-BS2ESM133S

装置コード: N8500-252 Express5800/120Ld

製造番号: 0123456789

保証書番号: 9999999999

OS名: Red Hat Enterprise Linux ES 3

詳細バージョン: Update 2

コメント:

ok cancel



- Partition名は、EXPRESSSCOPE[®] モニター、またはPartitionリモートコンソールで確認可能です。
- Partition名はPartitionリモートコンソールで変更可能です。通報の発行元のPartitionが判別可能なように、同一System内に同一のPartition名は付けないでください。Partition名の変更方法は、「1. Partitionリモートコンソール」の「1.6.3 General」(142ページ)を参照してください。

管理PC用バンドルソフトウェア

本装置をネットワークから管理するための「管理PC」を構築するために必要なバンドルソフトウェアについて説明します。

ESMPRO/ServerManager

ESMPRO/ServerAgent がインストールされたコンピュータをネットワーク上の管理PCから監視・管理するには、本体にバンドルされているESMPRO/ServerManager をお使いください。管理PCへのインストール方法や設定の詳細についてはオンラインドキュメント、またはESMPROのオンラインヘルプをご覧ください。



チェック

ESMPRO/ServerManager の使用にあたっての注意事項や補足説明がオンラインドキュメントで説明されています。添付のCD-ROM「ユーティリティCD」内のオンラインドキュメント「ESMPRO/ServerManagerインストールレーションガイド」を参照してください。

ESMPRO/ServerManager連携機能

本機能は、本サーバでESMPRO/ServerAgentが停止している場合でも、EXPRESSSCOPE® Engine SP（サービスプロセッサ）からのアラートを保守センターに通報するために必要な機能です。本体にバンドルされているESMPRO/ServerManagerのインストール後、本機能の追加インストールを行うことにより、EXPRESSSCOPE® Engine SPでは、ESMPRO/ServerAgentを経由せずESMPRO/ServerManagerにアラートを送信します。

ESMPRO/ServerManager 連携機能の詳細については、以下のガイドを参照してください。

添付の「ユーティリティ CD」内のオンラインドキュメント
「ESMPRO/ServerManager 連携機能インストール手順書」

エクスプレス通報サービス(MG)

エクスプレス通報サービス(MG)は、エクスプレス通報サービスにおいて、EXPRESSSCOPE® Engine SP〔サービスプロセッサ〕からのアラートを保守センターに通報するためのプログラムです。本機能をインストールするためには、事前に、ESMPRO/ServerManager、およびESMPRO/ServerManager連携機能がインストールされていることが必要です。

エクスプレス通報サービス(MG)の詳細については、以下のガイドを参照してください。

添付の「ユーティリティ CD」内のオンラインドキュメント
「エクスプレス通報サービス(MG) インストレーションガイド」

受信情報の設定

エクスプレス通報サービス(MG)でのEXPRESSSCOPE® Engine SP (サービスプロセッサ) からのアラートを通報するためには、まず、受信情報の設定を行う必要があります。設定方法は、本ユーティリティ CDに格納されている、以下の手順書を参考にしてください。

「ESMPRO/ServerManager 連携機能インストール手順書」